

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局):教育委員会

【11月分】

課(室):スポーツ健康課

その1

担当者:津田行代(内線)3589

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)		
第25回アジア女子バスケットボール選手権大会	1位	H25.11.3	日本 (宮元美智子, 王新朝喜)	宮元と王の2名を含む日本は、43年ぶり2度目の優勝を果たし、来年の世界選手権大会の出場権を獲得した。 (タイ/バンコク)		
第42回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会						
女子個人(選手権者決定戦)	2位	H25.11.4	竹川 ひかる (朝日大4年)	竹川は最終の3ゲームでハイスコアをマークし追いついたが、1位と16点差の3,925点で惜敗し2位となった。 (長崎県長崎市:長崎ラッキーボウル)		
内閣総理大臣杯得点	3位	H25.11.4	岐阜県 (竹川, 脇坂, 高橋美, 高橋俊)	岐阜県は混合4人チーム戦でも4位に入賞し、各都道府県別の総合成績で3位となった。 (同上)		
第17回全国カデ・フェンシング選手権大会						
男子フルレ個人戦	3位	H25.11.4	伊藤 拓真 (大垣ジュニアFC)	伊藤は144名が参加したブル方式とエルミナシオン・ディレクト方式を勝ち抜き、3位となった。 (茨城県水戸市:東町運動公園体育館)		
男子フルレ個人戦	3位	H25.11.4	鈴木 健太 (はしまアFC)	鈴木は144名が参加したブル方式とエルミナシオン・ディレクト方式を勝ち抜き、3位となった。 (同上)		
第39回社会人野球日本選手権大会	2位	H25.11.7	東明 大貴 (富士重工業)	東明はエースとしてチームの2位に貢献し、今大会は通算20回2/3を投げて無失点で敢闘賞を受賞した。 (大阪府大阪市:京セラドーム大阪)		
第3回アジアチャンピオンズトロフィーホッケー大会						
女子	1位	H25.11.9	日本 (及川, 坂井, 中川, 永井葉, 永井友, 真野)	県出身及びゆかりの選手5名を含む日本は、決勝でインドに1-0で競り勝ち見事初優勝した。 (岐阜県各務原市:岐阜県グリーンスタジアム)		
男子	2位	H25.11.10	日本 (粥川, 橋, 川上, 井島, 山部)	県出身及びゆかりの選手5名を含む日本は、決勝でパキスタンに1-3で惜敗し2位となった。 (同上)		
第14回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会 女子	2位	H25.11.10	岐阜県	岐阜県は準決勝までの3試合を勝ち抜いたが、決勝は地元福井県に1-0で惜敗し2位となった。 (福井県丹生郡:福井県立ホッケー場他)		
第37回ABSジャパンオープンボウリング選手権大会						
男子個人	1位	H25.11.10	高橋 俊彦 (岐阜県体育協会)	高橋はプロ285名を含む832名が参加した個人戦で、大会史上4人目となるアマチュア選手優勝を果たした。 (愛知県稲沢市:稲沢グランドボウル)		
女子個人	1位	H25.11.10	竹川 ひかる (朝日大4年)	竹川はプロ130名を含む380名が参加した個人戦で、大会史上2人目となるアマチュア選手優勝を果たした。 (同上)		
第53回全日本大学対抗フェンシング選手権大会 第63回全日本学生個人フェンシング選手権大会						
女子サーブル団体	1位	H25.11.15	朝日大学フェンシング部	朝日大はサーブルで大会初となる4連覇を見事達成し、エペでは決勝で43-45で惜敗し2位となった。 (東京都世田谷区:駒沢屋内球技場)		
女子エペ団体	2位	H25.11.13				
女子サーブル個人	1位	H25.11.14			田村 紀佳(朝日大4年)	田村は準決勝、決勝をともに15-9で圧勝し、見事2連覇を果たした。(同上)
女子エペ個人	3位	H25.11.12			雑賀 由起(朝日大2年)	雑賀は準決勝で敗れたが、3位決定戦を15-11で競り勝ち3位となった。(同上)
第83回全日本ボクシング選手権大会 ライトフライ級	3位	H25.11.16	田中 亮明 (駒澤大2年)	田中は準決勝で優勝した選手に惜しくも判定で敗れ、3位となった。 (長崎県雲仙市:雲仙市吾妻体育館)		
第31回全日本実業団空手道選手権大会						
団体形	1位	H25.11.17	西濃運輸空手道部	西濃運輸は東日本選手権の覇者を破り勝ち進み見事初優勝、個人を含む全6種目中4種目制覇を果たした。 (兵庫県尼崎市:ベイコム総合体育館)		
男子個人形	1位	H25.11.17	新馬場 一世(西濃運輸)	新馬場は42名が参加したトーナメント戦を勝ち抜き優勝し、団体との2冠を獲得した。(同上)		
女子個人形	1位	H25.11.17	時岡 由佳(西濃運輸)	時岡は29名が参加したトーナメント戦を勝ち抜き優勝し、団体との2冠を獲得した。(同上)		
女子個人組手	1位	H25.11.17	本間 絵美子(西濃運輸)	本間は28名が参加したトーナメント戦を勝ち抜き、2年ぶりの優勝を果たした。(同上)		

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第42回日本男子ソフトボールリーグ 決勝トーナメント	3位	H25.11.17	岐阜エコデンSC	岐阜エコデンSCは西日本リーグの覇者を破り準決勝へ勝ち進んだが、準決勝は4-5で惜敗し3位となった。 (愛知県豊田市:豊田市運動公園ソフトボール場)
第5回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会 一般53kg級	3位	H25.11.21	吉田 春江 (可児市役所)	吉田はスナッチ66kg(2位)、クリーン&ジャーク73kg(3位)で、トータル139kgで3位となった。 (長崎県諫早市:長崎県立諫早農業高等学校第1体育館)
第66回全日本新体操選手権大会				
男子個人種目別クラブ	2位	H25.11.24	臼井 優華 (中京大1年)	臼井は種目別クラブで9.450点で2位、種目別スティックでは9.425点で3位となった。 (東京都渋谷区:国立代々木競技場第一体育館)
男子個人種目別スティック	3位	H25.11.24		